1 破綻寸前の市財政を立て直します

奈良市財政は、全国中核市の中で最悪水準で、市民一人当たり約70万円もの借金(市債残高)があります。今まで「市民だより」では財政状況に問題がないと記載されてきましたが、この姿勢を改め、財政緊急事態を宣言し、効果のない事業を全て見直します。財政立て直しを皆さんにお約束する証として、健全化の見通しが立つまで市長給与を毎月50%削減します。

2 利権政治を徹底的に排除します

現在の市政では、税金を使って適正価格の3.3倍以上もの価格で特定の私人から土地を購入したり、公共発注で特定の事業者を優遇したりしています。 特定の政治家や特定の事業者等だけが恩恵を受ける税金の使い方を抜本的 に改めます。職員の法規範意識を高め、公正公平な政治を実現します。

3 市民の安全を守る施策を優先します

公共施設の耐震化が放置されたり、消防職員数が国基準の67.4%の水準にまで減らされたり、市民の気付かないところで生命・安全を守る予算が削減され続けてきました。三橋の専門分野の一つである防災施策を優先します。

4 高齢者・障害者が暮らしやすい街にします

高齢者や障害者の方が不自由なく暮らせるよう、バスやタクシー等の市内 交通の充実を図り、状況に応じて交通費助成を実施します。これによって、 市内経済の活性化を図り、全ての世代が恩恵を受けられるようにします。 また、家庭ごみの分別や収集、行政手続や各種サービスの電子化・合理化 に当たっては、行政が責任を持ってきめ細やかな配慮を行います。

5 最高の公教育の場を提供します

奈良県では、生徒一人当たりの教育予算額が全国で最悪水準です。県民の 理解を得ないまま県立高校の再編が行われ、奈良市立一条高校でも無意味に 中高一貫化されようとし、市内公立高校普通科の定員が大幅に削減されます。 一条高校の中高一貫化を延期し、まずは既存の全ての市立小中学校の施設 整備に最善を尽くします。また、現状 1 校しかない市立高校を 2 校に増設し、 市内公立高校の定員を確保するとともに、教員の研鑚体制を強化します。

6 強力な子育て支援策を実行します

保育所等の待機児童問題も解消せず、保護者に育児短時間勤務制度の利用 を認めないなど、現在の市政の実態は「名ばかりの子育て支援」です。 保育士のサービス残業を解消して処遇を適正化し、待機児童は3年以内に

O人にします。また、中学生までの学習費(塾代など)助成を実施します。

7 箱モノ行政と決別し、雇用経済を振興します

奈良県と市の二重行政を解消し、重複業務を担う行政機関の統廃合を推進します。無駄な箱モノ建設は一切せず、真に必要な分野へ集中投資します。

8市役所の私物化は断固許しません

奈良市役所では、今なお天下りポストがあり、たった5年間の勤務だけで 6千万円もの人件費が支払われ、退職金も二重に支払われている事例もあり ます。管理職昇任試験が廃止され、実績もない職員が突如2階級昇任したり、 現市長の選挙支援者が優遇されたり、恣意的な人事が横行しています。

天下りは廃止し、政治家の口利きを排除して、人事は適材適所に徹します。

Nara City Council Member Mihashi Kazushi

奈良市議会議員 三橋 和史

プロフィール

【 現 在 】 奈良市議会議員(総務委員会、厚生消防委員会など) (政党:無所属)

【生まれ】 昭和63年(1988年)12月22日(32歳)

【学歴】 奈良県立奈良高等学校卒業

明治大学政治経済学部政治学科 卒業

大阪大学大学院高等司法研究科 修了(法務博士)

【 職 歴 】 株式会社南都銀行総合職

奈良県庁行政職(災害対策、行政広報、税務等を担当)

【座右の銘】正しき者に勝利あり

消防行政・感染症対策の怠慢を是正

正義を貫く信念と実績

・消防職員数が国基準の67.4%の水準にまで 減らされ、181名の不足が発覚。

是正計画の策定を実現させました。

- ・救急車等へのETCを整備。 未整備の消防本部が多数でしたが、 総務省など国の機関をも動かし、 全国的改善の契機になりました。
- ・感染症流行時であるにもかかわらず、 救急隊への予算が大幅に削減され、 1件ごとに使い捨てる仕様の感染防止衣を 半年間も使い回しさせていることが発覚。 消毒可能な再利用仕様を導入しました。



▲ 消防・防災施策、感染症対策の多くを三橋が推進

奈良市議会 審議実績第1位

奈良市議会には現在37名もの議員がいます。議員の最も重要な職務は、市議会での質問質疑による審議を通じて市政をより良くすることです。審議を重ねることで問題点や課題が整理され、必要な施策が推進され、行政が改善されていきます。実のある審議のためには、本来ならば、寝食を忘れるほどに調査や準備に全力を尽くさなければなりません。

選挙前になると、多くの政治家が「政治を改革します」「経済をよくします」などと宣伝します。 しかし、実態は選挙前だけの決まり文句です。議員に当選するだけでは何の意味もなく、発言もせ ずに行政を良くすることはできません。

ある議員が熱意を持って取り組んでいるかどうかは、その審議内容を確認すればすぐに分かりますが、その取組状況は発言回数や質問項目数などの数量的な側面にも反映されます。三橋の質問等発言回数などは圧倒的に多く第1位です。もちろん、内容の質についても、市民生活に身近な分野から専門的な分野に至るまで十分な調査を経て、充実した審議となるよう全力を尽くしてきました。

旧態依然とした奈良の政治は徹底的に改革しなければなりません。奈良市政の改革断行にご賛同いただき、引き続き、三橋和史の政治活動にご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

<u>学校耐震問題の追及、防災施策を主導</u>

- ・<mark>県立高校耐震化放置問題を徹底追及。</mark> 奈良市による避難所の指定を解除させ、 奈良市に対し奈良県への行政指導を要請し、 問題を顕在化させました。
- ・同報系防災行政無線(防災スピーカー)の 完全整備を実現。三橋の交渉により、 奈良市への2億1千万円の国庫補助も 獲得しました。
- ・通学路や危険箇所の調査を実施。 市内全1703本の橋のうち40%に当たる 675本の橋の安全点検漏れが発覚。 整備計画の策定を実現させました。



▲ テレビなどでも連日報道(画像は関西テレビより)

高齢者・障害者福祉の推進

- ・家庭ごみの分別や収集について支援を実施。 老朽化したごみ焼却場の早期建替えにより、 分別負担等を軽減でき、年間13億円もの運営 費用の縮減効果があることを明白にしました。 三橋は、家庭ごみ排出の有料化はしません。
- ・障害者差別支援法に基づく窓口対応を改善。 民間企業における勤務経験を活かして、 杓子定規な行政窓口での手続の柔軟化を図り 障害者が受ける不便の解消を実現しました。
- ・災害時において、障害者による情報取得の ための支援を努力規定から義務規定に変更。 行政が支援することを明確化しました。



▲ 新クリーンセンター (年間13億円もの縮減効果)

